

日本農業遺産認定後の活動状況（令和6年度）

普及・啓発活動

地域住民の理解向上



シンポジウムの開催



地域勉強会



出前講座

- シンポジウムや地域勉強会の開催や、地域が主催する出前講座等により、農業遺産の価値の理解促進を図りました。

〔参加者数〕

シンポジウム	87人
地域勉強会	19人
出前講座等	1,077人（14回開催）

地域内外の認知度向上



各地域のイベントへの出展



SNS等による情報発信

- イベントでは農業遺産認定内容のパネル展示やクイズにより、参加者に対する農業遺産の認知度向上を図りました。

- 他地域の団体、学校等の視察を受け入れました。

〔参加者数〕

イベント	9回	778名
視察受入数	4件	37名

地域活性化活動

地域交流



地域おこし協力隊によるフットパスイベント



赤生津地域活性化協議会主催の散策会イベント

特産品販売



東稲山麓地域3市町物産販売促進委員会による特産品販売会

保全活動



赤生津地域活性化協議会保全隊による経塚山の山ツツジの再生



いわて生協等森林保全ボランティアの活動

- フットパスイベントなど新たな地域交流の取組が始まりました。

日本農業遺産保全計画・進捗状況（令和6年度）

- 日本農業遺産認定2年目は、1年目に引き続きシンポジウムの開催や出前講座への出張、地域が行うイベントにおける周知等を通じて、東稲山麓地域の農業遺産としての価値の理解促進に努めてきました。出前講座の開催回数等が令和5年度より増加しており、着実な理解促進につながっています。
- 各地域においても、赤生津地域活性化協議会保全隊による山ツツジの再生や、生母生産森林組合が、いわて生協と「コープの森まえさわ生母の森づくり活動」としてブナの樹の植樹が始まるなど、継続的な保全活動を行っています。

I 食料及び生計の保障

〔取組内容〕

- ・新規就農者の確保・育成
- ・地域営農組織の育成

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R6)
中心経営体経営面積	936ha	1,005ha	1,229ha

III 地域の伝統的な知識システム

〔取組内容〕

- ・知識システムの継承に向けた体制整備と地域住民への理解促進
- ・国内外の地域との交流・情報提供

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R6)
講習会受講者数	—	50人	1,183人
シンポジウム等開催数	年1回	年3回	年16回
視察受入数	—	10件	4件

V 多様な主体の参画

〔取組内容〕

- ・企業が地域活動に参加しやすい仕組みの構築
- ・メディア等と連携した情報発信による知名度向上

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R6)
地域活動連携企業数	2社	6社	3社
情報発信回数	—	20回	2回

II 農業生物多様性

〔取組内容〕

- ・環境保全に向けた農地や森林の適正な維持管理
- ・多様な主体の参画による保全活動の推進

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R6)
森林経営計画認定面積	821ha	821ha	664ha
集落協定取組面積	802ha	802ha	796ha
保全活動連携企業等数	2社	6社	1社

IV ランドスケープ及びシースケープの特徴

〔取組内容〕

- ・生産森林組合等の活動活性化による森林の保全
- ・ボランティアや企業の支援による棚田保全システムの構築

指標	現状	目標 (R9)	実績 (R6)
森林保全活動連携企業数	1社	3社	1社
ボランティア人数	—	100人	0人